

メッシュベルト式連続炉 (SINKA-DX)

Mesh Belt Type Continuous Furnace



環境問題に対応するために、新型ヒータ開発による消費電力の削減と新型マッフル採用によるガス使用量の大幅な削減を実現しました。

ユーザビリティを向上する機能としてパソコン制御を搭載し、さらに低価格化をも実現した連続炉を紹介します。

特長

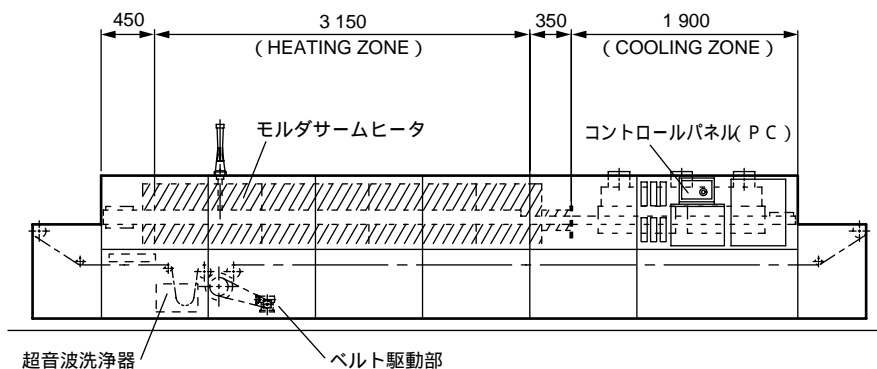
- ・アルミナファイバを真空成型したボードの中に埋め込まれたヒータ(名称モルダサーム)を使用。1ブロック当たりのヒータを大型化し、熱放散ロスを削減。
- ・板金部品点数を30%以上削減(当社比)し、組立工数削減により低価格化。
- ・マッフル形状を変更し、消費ガスを30%削減。(当社比)
- ・出入口ガスカートン構造を改良し、炉内雰囲気安定性強化。
- ・パソコン制御を採用し、ネットワーク構築およびペーパーレスデータ管理に対応。

仕様(代表機種例)

- 型式：MT-141261-20AMC-76
- 加熱方式：電気抵抗加熱
- 使用温度：最高950
常用850
- 温度精度：±2 (at 850)
- 残留O₂濃度：元ガス+5 ppm以下
- ベルト寸法：350mm
- 炉体寸法：W1100×L7000×H1740
(mm)
- コントローラ：パソコン制御
- 消費電力：ヒータ10kW(安定時)

用途

- ・MLCC(Multi Layer Ceramic Capacitor)
- ・LTC(Low Temperature co-fired Ceramics)
- ・その他厚膜焼成を含む電子部品など



光洋サーモシステム株式会社